



地域の皆さまこんにちは。地域の方には日頃からご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。月津こども園の子どもたちは、健やかに毎日の園生活を楽しんでいます。そんな姿をこの情報誌を通して知っていただくと幸いです。

教育・保育理念『善隣のこころ』

いつでもどこでもそしてだれにでもわれら善き隣人たらん

教育・保育方針『三つのゼン』

すべての子どもが「安全」に過ごせる心くばりをする
 すべての子どもに「自然」の大切さを気づかせていく
 すべての子どもの「積善」への努力をみとめていく

教育・保育目標

- 心身ともに健康な子ども
- 自然を大切にする子ども
- 自分で考えて行動できる子ども

☆ 今月号のテーマ「1年を通して～子どもたちの成長～」☆

子どもたちは遊びを通してこの1年間で大きく成長しました。今月号では、そんな1年を通しての子どもたちの姿や成長について、各クラスでの様子を特集しました。

ひよこ組 (0歳児)

**たくさん食べられるようになったよ
 ～食に興味を持ち楽しく食べる～**

★ひよこ組では、子どもたち一人一人に応じた食事を提供しています。離乳食の子は、はじめは保育教諭に介助されながら食べていましたが、今では手づかみ食べができるようになり、自分で意欲的に食事を楽しんでいます。1歳を過ぎて完了食に移行した子は少しずつスプーンに興味を持ち始め、保育教諭に手伝ってもらいながら、スプーンを上から握りすくって食べることができるようになりました。「上手に食べられたね。」「おいしいね」と声をかけると笑顔を見せてくれる子どもたちです。



スプーンを持って食べるよ！ 手づかみで食べれるよ！おいしいなあ～



ひまわり組 (5歳児)

**「制作・創作活動」
 ～作ることを通して育む想像力～**

★天候が悪く大好きな園庭に出たり、外に出て遊ぶ機会が少なくなってしまう今の時期、ひまわり組では自分たちで作りたいものや手作りのおもちゃなどをどうやったら作れるか友だちと一緒に話し合っ制作活動を楽しんでいます。また、積み木や粘土を使った創作活動も子どもたちに人気です。積み木を高く積み上げ「先生よりも高くするわ!」と目標を持って遊んでいる姿も見られます。また、積み木を使って家や道路を作ったり、粘土を使って食べ物や動物などを作って想像力豊かに遊んでいます。自分たちの考えたおもちゃや想像したものが出来上がると達成感でいっぱいな表情を見せてくれる子どもたちです。



「作って遊ぶの大好き!」

きく組 (4歳児)

**体を動かして遊ぶの大好き!
 ～ルールのある遊びをみんなで楽しもう～**

★最近のきく組では、かごめや、ハンカチ落とし、だるまさんが転んだ、しっぽ取り、じゃんけんゲーム、転がしドッチボールなどのルールのある集団遊びを楽しむ姿が見られます。玩具で遊んだり園庭に出て走って遊んだりすることも大好きですが、みんなと一緒に遊ぶのが楽しくて、「しよう!!」と子どもたちから声が上がリ、積極的に楽しんでいます。ルールも自分たちで把握し、「次、だるまさんが転んだでこんなポーズして止まってみよう!」「色鬼は、色増やしてみよう」など新しいルールをみんなで話してアイデアを出しながら遊ぶ姿も見られ、友だちとかかわる力や、言葉で相手に思いを伝える力、自分たちで遊びを考え、広げていく想像力も遊びを通して育っています。



ハンカチ落とし

しっぽ取り

じゃんけんゲーム

ちゅうりっぷ組 (2歳児)

**ぼくの、わたしのパンツ、ステキでしょ!
 ～おしっこできるようになったよ～**

★ちゅうりっぷ組の子どもたちが出来るようになったことはいろいろありますが、なんととってもかわいい、カッコいいパンツに変わったことです。パンツをはき始めた当初は漏らしてしまうことはもちろんありましたが、それを気持ち悪いと感じたり、大好きなウルトラマンが濡れてはけなくなっちゃうなどいろんなことを感じながら、失敗を繰り返し頑張ってきた子どもたちです。今では自分でおしっこしたくると教えてくれる子どもたち。たくましくなりました!



「おてて、きれいになったよ。」

「お兄さんパンツ 濡らさないぞ!」

ゆり1組 (3歳児)

**かるた遊び楽しいな
 ～ひらがなに関心を持ち、競い合っ遊ぶ楽しさを感じる～**

★お部屋ではかるた遊びが人気です。絵やひらがなを見て札を探すのが面白くて競い合っ取り、何度もやるうちに取るスピードがどんどん速くなってきています。はじめの頃は、あまり枚数が取れないと泣いてしまったり途中でやめたりすることもありましたが、今では「もう一回やろっ!」とうまく気持ちを切り替えられるようになってきました。そしてみんながやりたがるのが「読み手」の役です。知っているひらがなをひとつひとつゆっくり読んだり、分からないひらがなは保育教諭にこっそり耳打ちしてもらい読んだりして、読み手役を楽しんでいます。かるたを始めてからひらがなへの関心がますます深まってきたようで、普段の生活でもひらがなを見つけると「『あ』や!」「『か』ってかいてある!」と言うことが多くなってきました。



「こんなにとったよ!」

ゆり2組 (3歳児)

**子どもたちに大人気のバナナ鬼ごっこ!
 ～体を動かして遊ぶことを楽しむ～**

★子どもたちは体を動かすことが大好きで鬼ごっこ、リレー、転がしドッチなどたくさん体を動かして楽しんでいます。特に子どもたちに人気の遊びはバナナ鬼ごっこです。鬼役の子は逃げる友だちを追いかけてタッチし、タッチされた子はバナナのように両手を挙げてバナナポーズをして助けを待ちます。間の子がバナナになっている子の両手をバナナの皮をむくようにして両手を下すまた逃げるができるという遊びです。自分がかまらぬように鬼から夢中で逃げたり、鬼に捕まっバナナになった友だちをはりきって助けたりする姿が見られます。子どもたちは、鬼になること、バナナになることをとても楽しんでいます。



「まて〜!」

「だれかー! たすけてー!」

たんぽぽ1組 (1歳児)

**「原っぱでの活動の一年」
 ～四季を感じながら自然活動を楽しむ～**

★歩行も安定しなかつた春の頃から、近辺にある原っぱでの活動が大好きなたんぽぽ1組さん。春は、野の花を保育教諭やお友だちと摘んでたんぽぽの綿毛を吹き春日差しの暖かさにふれました。草の匂いを嗅ぎながら原っぱを駆けた夏には、カエルを捕まえてお部屋で飼育したり、バッタやコオロギなどの昆虫採集を楽しみました。秋には畑にある柚子の木やみかんの木を近くで眺め、柚子やみかんの香りに触れました。冬は、大きな氷を見つけ、触って氷の冷たさを感じました。大好きな原っぱでの散策を通じ、自然活動を五感で楽しむことで歩行の安定や、言葉の数、色々な興味を持つことに繋がること出来たと思います。



カエルさん探索中

野生の大根! うんとこしょ、どっこいしょ

たんぽぽ2組 (0・1歳児)

**お店屋さんごっこで遊んだよ
 ～友だちや保育教諭と言葉のやり取りをしながらごっこ遊びを楽しもう～**

★ある日、保育教諭が新聞紙でドーナツを作ると「あむあむ」「おいしいねー」と食べる真似をしたり、友だちとにっこり顔を見合わせて喜ぶ子どもたち。「おにぎりも!」と言い出すSちゃん。そこからお店屋さんごっこの食べ物づくりが始まりました。ドーナツ、おにぎり、ジュース屋さんを用意し、いよいよ楽しみにしていたお店屋さんごっこ本番。三角巾やエプロンを身につけてお店屋さんになりきる子どもたち。「〇〇〇か?(どれにしますか?)」「ちょーだい」「はいどーぞ」「あん」となど様々な言葉が出てきました。同じ商品でもいくつか種類を作り、子どもたちが自分で味を選ぶようにしました。1歳児は、小さな指を一生懸命に動かし、トングでドーナツをつかもうとする姿がありました。0歳児も、お金を渡して商品を受け取ったり、真剣にあれこれ迷っお買い物する姿がとても可愛かったです。友だちと関わり合っ夢中で遊ぶ子どもたちの姿に成長を感じました。



オレンジジュース、ごくごく

「いらっしゃいませ!」